

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2025年12月7日

NO.360

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

2026年度京都市予算要望書を提出

岡田副市長と懇談



多くの政党が選挙で公約に掲げるなど、大きな議論になったにも関わらず、減税への方針も示されていませ

物価高騰対策として
消費税減税と高上げ支援を！

先の参議院選挙で、自民党政治は国民から厳しい審判を受け、高市自民維新連立政権が誕生しましたが、企業献金禁止を棚上げし、憲法改悪や大軍拡へ突き進もうとしており、国民から不安の声が広がっています。

2026年度京都市予算編成にあたり、日本共産党京都市会議員団は要求書を提出しました。

アメリカ言いなりの
大軍拡は撤回を！

ん。消費税の減税やインボイス制度の廃止は喫緊の課題です。物価高騰に見合う賃金の引き上げの対策も必要です。

医療・介護の切り捨て
撤回を国に求めよ

社会保障分野においては、医療費の削減や介護保険利用料の2割負担の対象拡大、要介護度1・2の生活援助等を保険給付から外すこと、保険料納付年齢の引き下げや利用開始年齢の引き上げなどが狙われています。

国民の命を守る政治の役割を発揮し、被保険者や利用者をはじめ、自治体負担を増やすことのないように財政措置を講じることが必要です。削減された訪問介護報酬の引き上げも喫緊の課題です。さらに障害が重く、支援が必要な人ほど負担が増える「応益負担」は憲法の理念に反するものであり、速やかにやめるべきです。

農業支援し食料自給率
引き上げこそ

農業においては、夏のコメ不足による問題が生じ、国の農業政策として、食料自給率を設定し、主食であ

る米の需給政策をしっかりと、後継者育成支援を強めることが求められています。

国の制度は京都市の予算に大きく影響することから、市民の切実な願いについて、自治体として、市民の立場で国に対して、要望をしていただくよう求めました。

開発優先見直し
くらしの支援を！

来年度の予算編成にあたっては、三条京阪や京都駅周辺等の大型開発推進ではなく、何よりも物価高騰などで苦しむ市民の暮らしへの支援を強化することを重点にするべきです。

京都市は4年連続黒字決算でした。京都市行財政改革計画のもと、市民負担の増大と市職員の削減、公有財産の売却などにより公共の役割を大きく後退させてきたことについて、計画の見直しと改善をおこなうべきです。さらに、国の制度の不十分な点を補い、京都市独自の施策として、市民の暮らし



を応援する予算編成を求めました。
要望書提出後、岡田副市長と懇談し、意見交換を行いました。

286の要望項目は、ホームページをご覧ください。

第231回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

12月13日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)
主催 日本共産党市会議員 山田耕司事務所
佐々木 義人 801-9379



た。
的に開催し、地元自治連をはじめ各種団体も参加され、交流が広がりまし

た。
の交流が再開され、昨年の試験的に実施された「健康フェスタ」。今年は大々

民医連中央病院で「健康フェスティバル」が盛大に開催されました。敷地に塀がなく、地域に根差し、地域と交流する病院として右京区に2019年11月に移転。移転直後にコロナとなり、コロナ感染症対策で大きな役割を果たし、貢献しましたが、地域との交流が閉ざされていまし

山田こうじです！

NO.347

まいとおきに